

様式 4

令和 2 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子西高等学校

校長 富田 運一

評 価 日	令和 3 年 2 月 2 2 日 (月)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ・学校ホームページで見た進路に関する講演会のねらいは何か。 ・進路講演会に関して、広い視点を持たせるような刺激・働きかけがあってもよいのではないか。具体的にはネットビジネスやベンチャー企業に関すること。 ・みらいチャレンジ活動に関する意見・質問が多数 (2) 説明・公表について ・授業改革の推進は、日々の実践・取り組みが重要である。学校評価生徒アンケートの間 3 「本校の職員は、授業の進め方や発問など工夫している。」の回答として「そう思う」の比率を高めることが重要。		・「教師育成プロジェクト」として島根大学との合同開催で行っている。併せて作業療法士および自衛隊に関する説明を行った。 ・今後は、I C T活用を高めることも求められ、従来の枠に限定しない方向性も必要との見解を示す。 ・事業のねらいについて説明。 ・意見を参考にしたい。
2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営 の状況について ・特になし		・令和 2 年度の主な学校独自事業の成果等について、コロナ禍による各種事業の縮小や日程変更が余儀なくされたことを説明。 ・「地域に根ざした普通科高校」としての使命について説明。
3 取組改善のための提言 ・「みらいチャレンジ活動」について、成果発表会における生徒の取り組む姿勢が、調べ学習に終始することなく、年々成果を上げていることに高く評価する。また、今後更に深化することを求める。		